

海底火山等の最近の活動について*

The Recent Activity of Submarine Volcanoes
and Volcanic Islands

海上保安庁水路部

Hydrographic Department, Maritime Safety Agency

1. 南方諸島方面

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
新 島	1995 7 5~7	海 上 保 安 庁	羽伏浦のほぼ全域に濃い黄白色の変色水が、島の西岸の高根から南端の神渡鼻の北1,500 mにかけてと早島の周囲には、ほぼ全域に薄い白色の変色水が、アジア磯及び淡井浦にも白色の変色水が認められた。 熱計測の結果、火山性の熱異常は認められなかった。
式 根 島	"	同	御笠湾に濃い白色の変色水が認められた。
神 津 島	"	同	多幸湾及び返浜の北西の海岸線に白色の変色水が認められた。熱計測の結果、火山性の熱異常は認められなかった。
	10 7	同	多幸湾内の多幸浜に薄い青白色の変色水が、三浦湾に少量の濃い茶色の変色水が認められた。
三 宅 島	1995 7 5~7	同	大船戸渡湾には黄緑色の変色水が、夕景浜、六双根北東700 m付近の海岸線及びツル根岬西方600 m付近の海岸線には、それぞれ緑色の変色水が認められた。熱計測の結果、火山性の熱異常は認められなかった。
青 ケ 島	"	同	黒崎から東側の海岸線800 m、太名子北西500 m付近及び金太から西側の海岸線700 mにそれぞれ薄い緑色の変色水が認められた。
明 神 礁 (ベヨネース)	1995 7 5~7	海 上 保 安 庁	変色水等の異常は認められなかった。
白 根 付 近	"	同	変色水、水温等の異常は認められなかった。
須 美 寿 島	"	同	島の北側に極薄い黄緑色の変色水が認められた。熱計測の結果、火山性の熱異常は認められなかった。
鳥 島	"	同	島の北から西にかけての海岸線には極薄い黄色の変色水が、南岸には黄白色の変色水が、東岸には濃い黄褐色変色水がそれぞれ認められた。また、火口内の一部には茶色の水が溜まっていることなど、最近において火山活動が行われた形跡はみられなかった。 熱測定の結果、最高温度は火口縁の約46℃であり、周囲(肌地)より約6~10℃高い温度を示した。

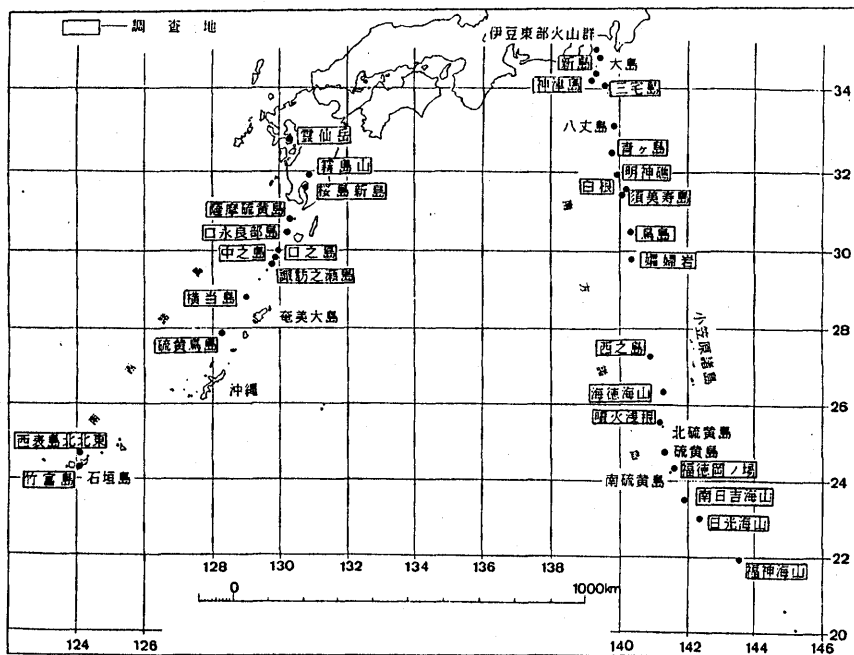
* Received 4 Dec., 1995

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
嬭 帰 岩 西 之 島	1995 7 5~7 "	海 上 保 安 庁 同	変色水、温度等の異常はみとめられなかった。 島の北側には薄い白色変色水が東側には黄緑色 変色水がそれぞれ認められた。 熱計測の結果、1974年の噴火の際できた新しい 陸地の部分は温度が高く約42℃を示した。 これは旧島の部分に比べて約6℃ほど高い温度 である。
海 徳 海 山	1995 6 15 7 5~7 7 12 8 16 9 20	海 上 自 衛 隊 海 上 保 安 庁 海 上 自 衛 隊 同 同	変色水等の異常は認められなかった。 " " "
噴 火 浅 根	7 5~7	海 上 保 安 庁	ガスの噴出によると思われる白色の斑点が数個 認められた。 熱計測の結果、火山性の熱異常は認められな かった。
硫 黄 島	"	同	島の海岸線全域に緑色、黄緑色及び黄色の変色 水が認められた。 温度測定は、最高温度は金剛岩付近の噴気地で 約49℃であった。
福 徳 岡 ノ 場	1995 6 15 7 5~7 7 12 8 16 9 20 10 16	海 上 自 衛 隊 海 上 保 安 庁 海 上 自 衛 隊 同 同 同	変色水等の異常は認められなかった。 変色水、温度等の異常は認められなかった。 変色水等の異常は認められなかった。 " " "
南 日 吉 海 山	6 15 7 5~7 7 12 8 16 9 20 10 16	同 海 上 保 安 庁 海 上 自 衛 隊 同 同 同	" " " " "
日 光 海 山	6 15 7 5~7 7 12 8 16 9 20 10 16	同 海 上 保 安 庁 海 上 自 衛 隊 同 同 同	" " " " "
福 神 海 山	6 15 7 5~7 7 12 8 16 9 20 10 16	同 海 上 保 安 庁 海 上 自 衛 隊 同 同 同	" " " " "

2. 南西諸島

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
雲仙普賢岳	1995 8 25～27	海上保安庁	山頂の溶岩ドームには、噴気が認められなかった。 高度約3,000 mから熱赤外放射温度計により温度測定した結果、山頂部の最高温度は76.5℃と測定された。なお、この測定結果は温度計の特性などの影響は未補正である。
霧 島 山	"	同	8月25日より新燃岳直下を震源とする群発地震が観測されたが(25日に実施)では、各山頂部が幾分雲に覆われていたものの、目視観測及び温度測定においても、火山の活動を示すような兆候は認められなかった。
桜島新島	"	同	変色水、温度等の異常は認められなかった。 なお、23日より噴火を伴う活発な火山活動を続ける桜島の南岳火口からは、火山灰を含んだ薄茶色の噴煙が大量に噴出しているのが認められた。
薩摩硫黄島	"	同	硫黄岳火口付近は雲のため視認できなかった。 周辺海域において、稲村岳南部海岸の港内及び東温泉の西約0.5 kmに濃い茶色変色水が、港外から東温泉にかけてと坂本温泉から平家城の間の海岸には、薄い茶褐色変色水が、東温泉から穴之浜にかけては薄い黄緑色変色水が、穴之浜から沖にかけて濃い黄色及び濃い橙色変色水が、平家城から東方沖にかけて濃い黄緑変色水が、坂本温泉の南西約1.5 km付近には、薄い緑色変色水がそれぞれ認められた。 昭和硫黄島の周辺には極薄い緑色変色水が認められた。
口永良部島	1995 8 25～27	同	山頂付近は雲に覆われていたものの、雲の切れ間から新岳火口の内側に少量の白色噴気が認められた。周辺海域においてニシマザキ、ニシマザキの南南東約2.5 km付近及びナゲシ南東約0.5 km付近には、薄い茶褐色変色水が、向江浜及び古岳の南西の海岸沖には薄い緑色変色水がそれぞれ認められた。
口 之 島	"	同	周辺海域において、オドイノ鼻の北方約1.5 km付近、同南東約2 km付近、大立神から鎌倉崎の南方にかけてそれぞれ白色変色水が認められた。 熱計測の結果、火山性の熱異常は認められなかった。
中 之 島	"	同	山頂火口付近は雲に覆われていたものの、切れ間から白色噴気が認められた。周辺海域において、草瀬東方、高元崎東方及び船倉南南西の海岸に薄い緑色変色水が、高元崎南方沖に薄い黄色変色水が、船倉海岸に茶褐色変色水がそれぞれ認められた。

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
諏訪瀬島	1995 8 25~27	海上保安庁	御岳火口は雲のため観測できなかった。周辺海域において、須崎から北東約3.5 kmの海岸には、ところどころ薄い褐色変色水が、須崎南東約0.5 km及びアカヅミ南南東約1.5 kmには薄い黄褐色変色水が富立鼻の南約1.5 kmには、濃い黄褐色変色水が、富立鼻の西方約1 km及び作地鼻北方には、濃い黄緑色変色水が、御岳東方海岸及び大船浜南方には、薄い緑色変色水がそれぞれ認められた。
横 当 島	"	同	島のくびれた部分の北側海岸は薄い緑色変色水が、南側海岸には濃い黄褐色変色水が、南側海岸は薄い黄色及び黄褐色変色水が認められた。熱計測の結果、火山性の熱異常は認められなかった。
硫黄島島	"	同	島の中央部にある古い火口及び北西端の新火口内にはともに噴気は認められなかった。周辺海域において、新火口の西側の海岸には約2 kmにわたり緑色及び黄褐色変色水が、島の南東端海岸付近には、極薄い緑色変色水がそれぞれ認められた。熱計測の結果、火山性の熱異常は認められなかった。
西表島北方海域	"	同	北緯24度50.0分、東経124度06.7分を中心に半径3マイルの海域(1924年に海底火山の噴火が起こったと推定される海域)に変色水等の異常は認められなかった。
竹 富 島	"	同	変色水、温度等の異常は認められなかった。



第 1 図 火山噴火予知調査位置図
Fig. 1 Index of submarine volcanoes and volcanic islands.